

| 参照者－現場ビューア |

【参照者】現場ビューア画面の説明

2023年5月29日公開

現場ビューアの画面について説明します。

目次

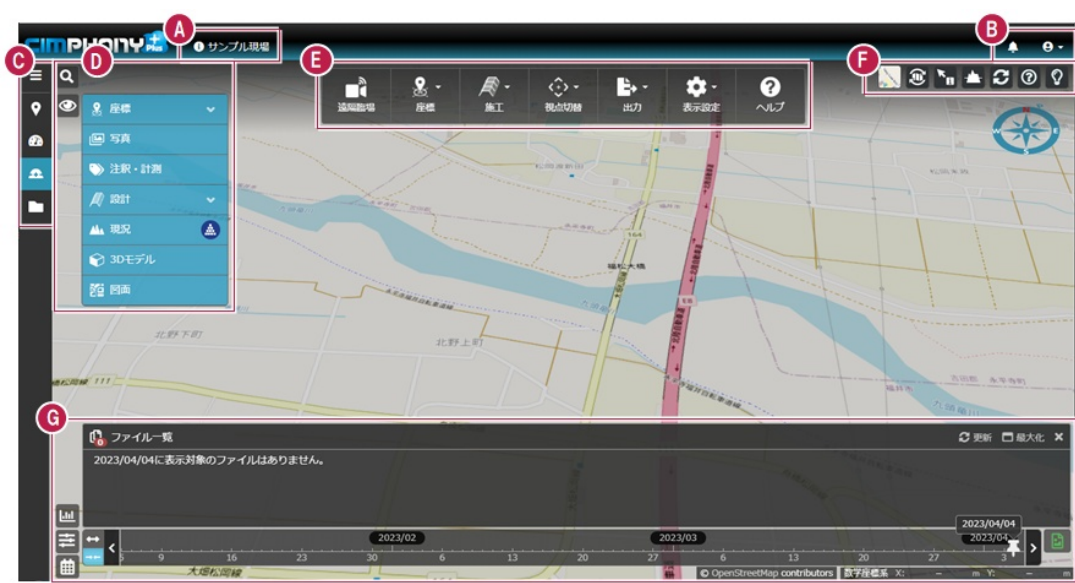
- ・ 現場ビューアを表示する
- ・ 現場ビューア画面の説明

現場ビューアを表示する

1.現場に入り、「[現場ビューア]」を選択します。



現場ビューア画面の説明



A	現場名	現場情報を表示します。
B	お知らせ 	お知らせを表示します。
	ユーザーボタン 	ユーザー情報の確認などを行います。 ・ ユーザー情報を変更する ・ メール通知を設定する ・ グループの管理 ・ マニュアルを確認する ・ 更新情報を確認する ・ CIMPHONY Plusからログアウトする
C	メニューボタン 	[現場管理] 現場管理に移動します。 [ダッシュボード] ダッシュボードに移動します。 ※休止現場の場合は非表示になります。 [現場ビューア] 現場ビューアに移動します。 ※休止現場の場合は非表示になります。

		【ファイル管理】 ファイル管理に移動します。 【最近利用した現場】 最近利用した現場が表示されます。 クリックして現場を切り替えます。 ※休止現場は表示されません。
	現場管理 	現場管理に移動します。 ・ 現場管理画面の説明
	ダッシュボード 	ダッシュボードに移動します。 ※休止現場の場合は非表示になります。 ・ ダッシュボード画面の説明
	現場ビューア 	現場ビューアに移動します。 ※休止現場の場合は非表示になります。
	ファイル管理 	ファイル管理に移動します。 ・ 【参照者】ファイル管理画面の説明
D	検索 	条件を指定して、該当するファイルや計測、注釈を現場ビューアに表示します。 ・ 【参照者】データを検索する
	表示切替 	現場ビューアに表示されている要素の表示/非表示を切り替えます。 ・ 【参照者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える
E	遠隔臨場	CIMPHONY Plusと連携した機器に接続します。 ・ 【参照者】遠隔臨場を行う
	座標	座標の情報を確認します。 ・ 【参照者】座標情報を確認する ・ 【参照者】座標点の表示設定を行う
	施工 (3D)	現在表示されている設計・点群データの断面や作業状況を確認します。

		・ 【参照者】管理断面を確認する (3D) ・ 【参照者】任意断面を確認する (3D) ・ 【参照者】現況データを比較する (3D) ・ 【参照者】土量進捗を確認する (3D)
	視点切替	視点位置を指定した方向へ移動します。 ・ 【参照者】視点を切り替える
	出力	現在の視点位置からの画像をキャプチャします。 ・ 【参照者】現場ビューアの画像を出力する
	表示設定	図面の濃淡などを変更します。 ・ 【参照者】点群の表示設定を行う (3D) ・ 【参照者】図面の表示設定を行う
	ヘルプ	現場ビューアの各コマンドの概要を表示します。
	地図の切り替え 	背景の地図の種類を選択します。 ・ 地図を切り替える
	背景の表示/非表示 	現場ビューアの背景に表示される地図の表示/非表示を切り替えます。 ・ 【参照者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える
	ファイル情報表示/非表示  ※タブレット端末では表示されません。	表示  設計 (3D)、点群 (3D)、3Dモデル (3D)、図面、オルソ画像の上にマウスを移動した時に、マウスポインター右下にファイル情報（ファイル種別、ファイル名、登録・測量日時・登録者）を表示します。 非表示  ファイル情報を表示しません。
	地中のデータ表示/非表示 (3D) 	地中のデータの表示/非表示を切り替えます。 ・ 【参照者】地中のデータの表示/非表示を切り替える (3D)
	更新 	現場ビューアを最新の状態に更新します。
	操作ヘルプ 	画面操作の方法を表示します。

	画面の説明 	画面の説明を表示します。
	進捗チャート (3D) 	盛土、切土の進捗率を確認します。 ・ 【参照者】土量進捗を確認する (3D)
	表示期間設定 	オルソ画像、3Dモデル (3D) 、点群 (3D) の表示期間を確認します。 ・ 【参照者】オルソ画像の表示期間を確認する ・ 【参照者】3Dモデルの表示期間を確認する (3D) ・ 【参照者】点群の表示期間を設定する (3D)
	カレンダーから選択 	カレンダーから日付を選択します。 ・ 【参照者】タイムライン-日付選択
	ファイル一覧	タイムラインで選択した日付に登録されているファイルを表示します。 ・ 【参照者】ファイル一覧について ・ 【参照者】ファイルを確認する
	タイムライン 	登録データを時系列順に確認できます。 日付を選択すると、登録データがファイル一覧や現場ビューアに表示されます。 ・ 【参照者】タイムライン-日付選択 ・ 【参照者】タイムライン-表示期間の切り替え
	モード切り替え (3D)  /  / 	現場ビューアのモードを切り替えます。  : 共有ファイル  : 点群データ  : 出来形データ ・ 【参照者】出来形データ画面の説明 (3D)
	座標情報	座標系とマウス位置の座標値が表示されます。  ・ 座標値が「-9999999.999」～「+9999999.999」の範囲外の場合、座標値は表示されません。 ・ タブレット端末の場合、最後にタップした位置の座標値が表示されます。

| 参照者－現場ビューア |

【参照者】タイムライン-日付選択

2023年5月29日更新

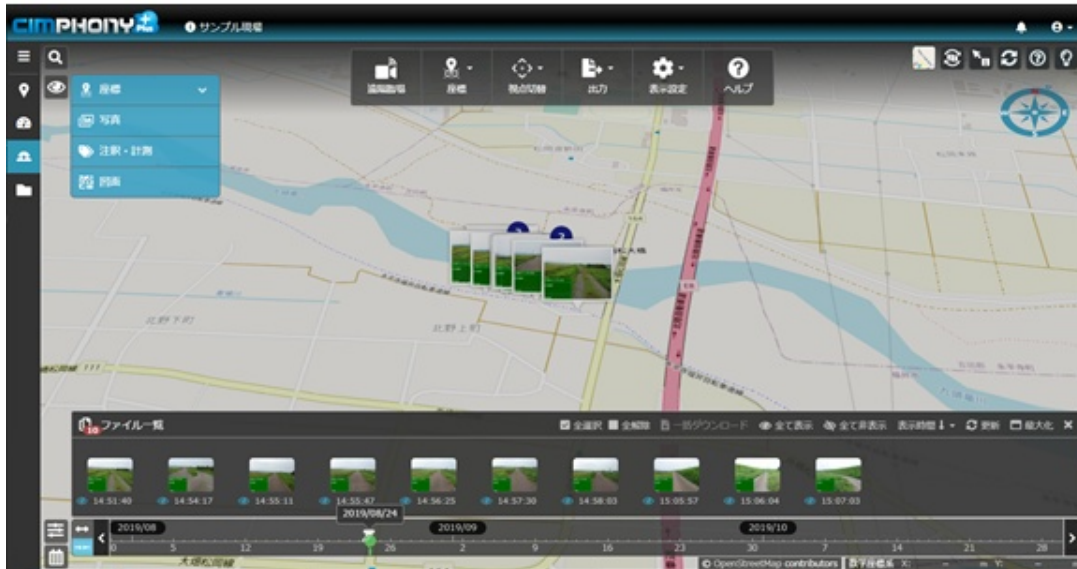
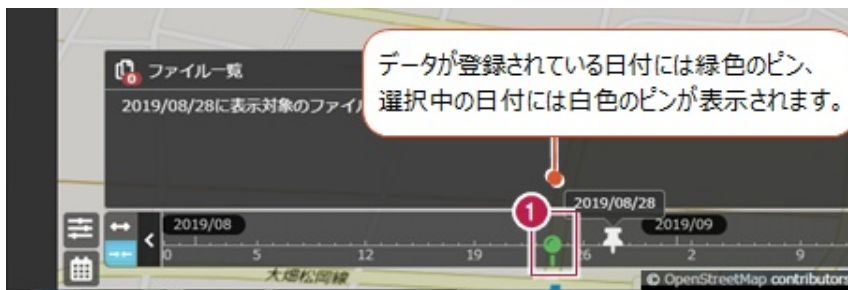
タイムラインでは登録データを時系列順に確認できます。
日付を選択すると、登録データがファイル一覧や現場ビューアに表示されます。
日付の選択は、タイムラインから選択する方法とカレンダーから選択する方法があります。

目次

- ・ タイムラインから日付を選択する
- ・ カレンダーから日付を選択する

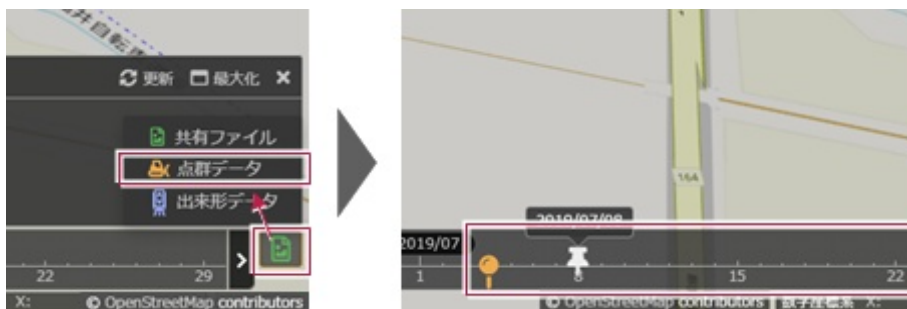
タイムラインから日付を選択する

1. タイムラインで、確認したい日付をクリックして選択します。
登録データがファイル一覧や現場ビューアに表示されます。



《3D補足》進捗計算用点群データの測量日時を確認する

タイムライン右側のモード切り替えボタンで「点群データ」を選択すると、点群データ登録時に設定した「測量日時」にオレンジ色のピンが表示されます。
 （進捗計算対象外の点群データの「測量日時」にはピンは表示されません。）
 タイムラインで日付を選択すると、選択した日付の直前に登録されている点群データが現場ビューに表示されます。



※ピンの上にマウスを移動して「点群ビュー」をクリックすると、点群ビューが起動します。

点群ビューの詳細は、「[点群ビュー](#)」を参照してください。



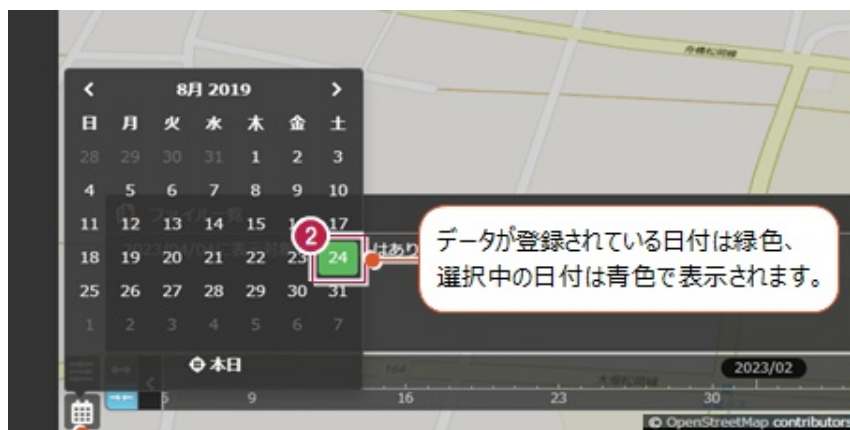
カレンダーから日付を選択する

1.画面左下の「カレンダーから選択」をクリックします。

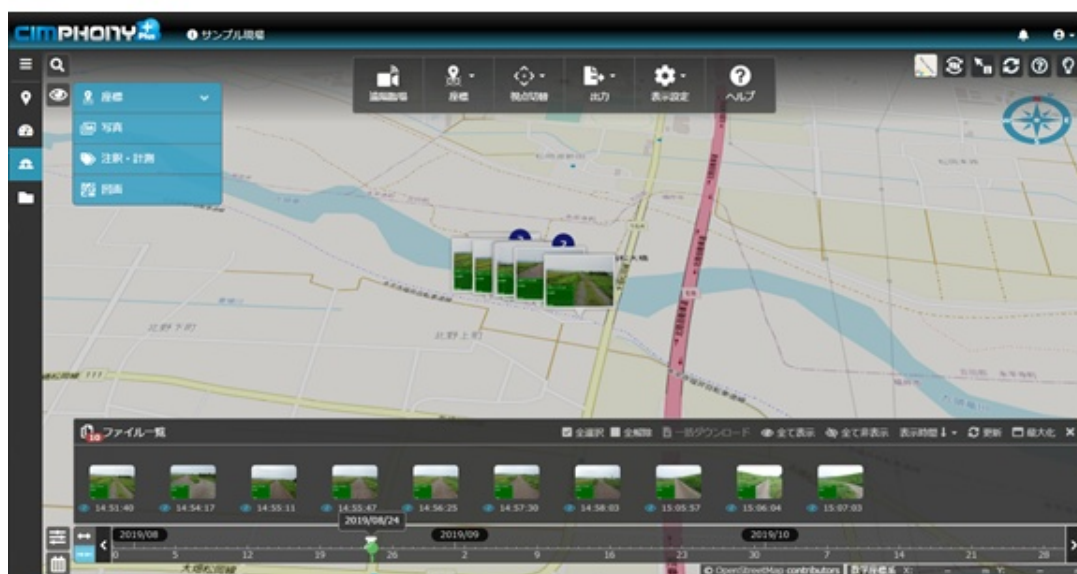


2.確認したい日付をクリックして選択します。

登録データがファイル一覧や現場ビューに表示されます。



カレンダーを閉じる場合は、再度クリックしてください。



《3D補足》進捗計算用点群データの場合

モード切り替えボタンで「点群データ」を選択している場合、進捗計算用点群データの「測量日時」はオレンジ色で表示されます。

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20

| 参照者－現場ビューア |

【参照者】タイムライン-表示期間の切り替え

2023年5月29日更新

タイムラインの表示期間は「全期間」と「3か月間」から選択します。

全期間を表示する

- 1.画面左下の「全期間」を選択します。
工期の全期間が表示されます。



3か月間を表示する

- 1.画面左下の「3か月間」を選択します。
タイムラインで選択中の日付を含む3か月間が表示されます。



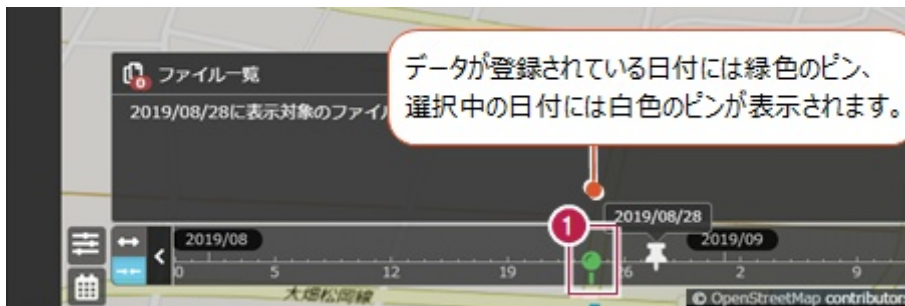
| 参照者 - 現場ビューア |

【参照者】 ファイルを確認する

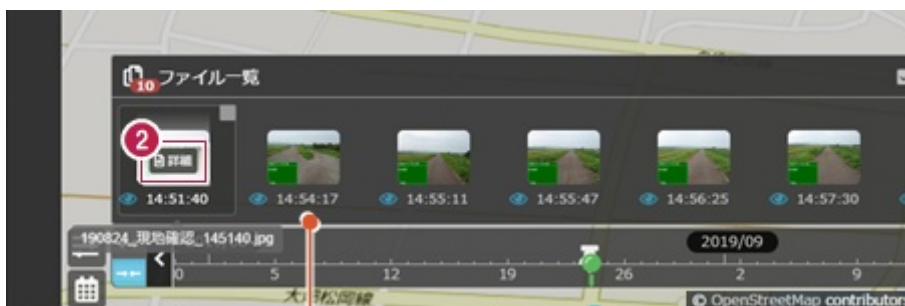
2023年5月29日更新

現場ビューアで写真や書類などのファイルを確認します。

1. タイムラインで緑色のピンをクリックします。
ファイル一覧や現場ビューアにファイルが表示されます。



2. ファイル一覧のファイルの上にマウスを移動して、[詳細] をクリックします。
ファイル情報が表示されます。





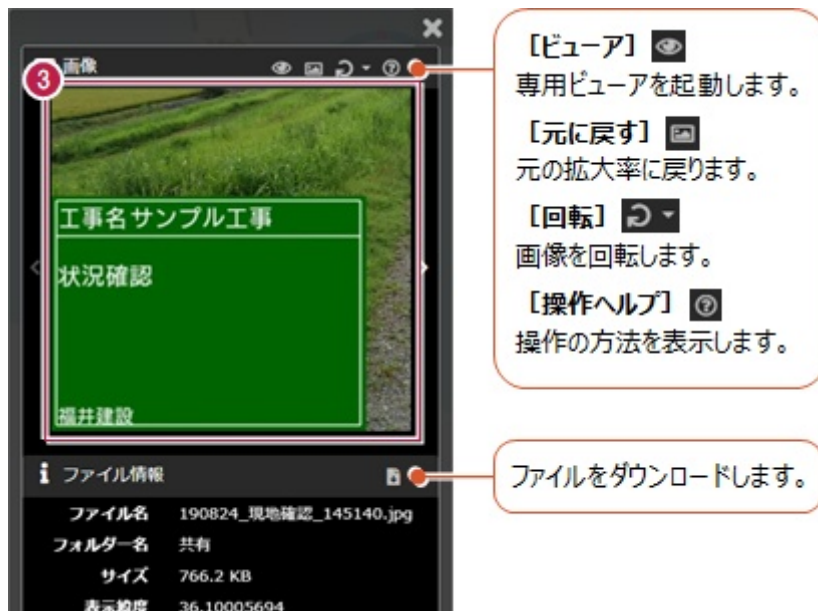
各ファイルが保持している情報が表示されます。

電子小黑板付きデジタル工事写真の場合
画像、ファイル情報、Exif情報、写真情報

JPEGなどの画像ファイルの場合
画像、ファイル情報、Exif情報

PDFやExcel、動画などのファイルの場合
ファイル情報

3.画像の上でマウスホイールを転がすと、拡大・縮小します。
拡大表示中は左ボタンドラッグや右ボタンドラッグで移動できます。



4. 画像の左右の矢印をクリックすると、次の写真、前の写真に移動します。



5. [×] をクリックして、ファイル情報を閉じます。

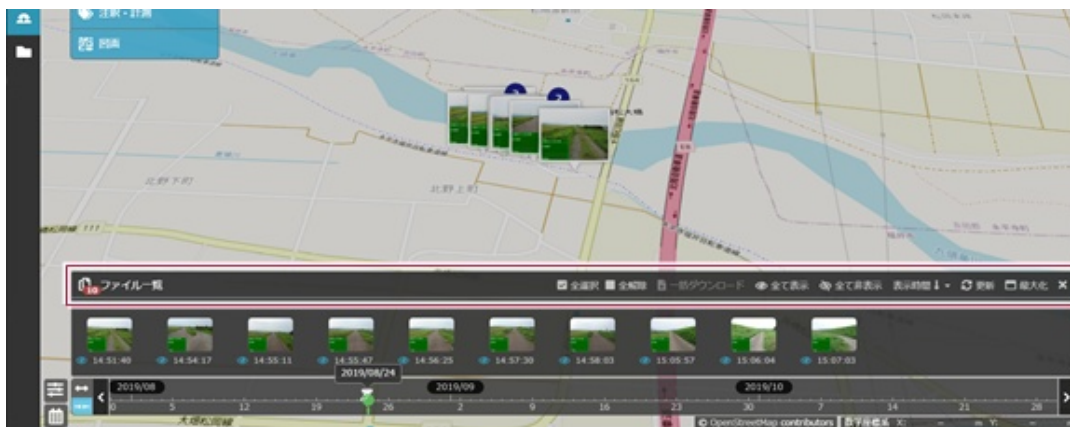


| 参照者－現場ビューア |

【参照者】 ファイル一覧について

2023年5月29日更新

現場ビューアのファイル一覧の各機能について説明します。



【全選択】

全てのファイルを選択します。

【全解除】

全てのファイルの選択を解除します。

【一括ダウンロード】

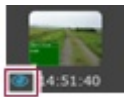
ファイルをダウンロードします。

各ファイル右上のチェックボックスをオンにすると有効になります。

【全て表示】 / 【全て非表示】

全てのファイルの表示/非表示を切り替えます。

※各ファイルの表示/非表示は、 /  をクリックして切り替えてください。
( /  は位置情報がある写真にのみ表示されます。)



【表示時間】

ファイルの並び順を変更します。

〔ファイル名〕 〔ファイル種類〕 〔表示時間〕 〔登録者〕 の昇順/降順を選択します。

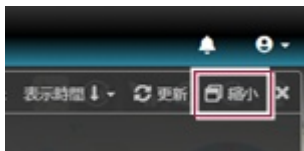
【更新】

最新の状態に更新します。

【最大化】

ファイル一覧を全画面に表示します。

〔縮小〕 をクリックすると、元の表示に戻ります。



〔x〕

ファイル一覧を非表示にします。

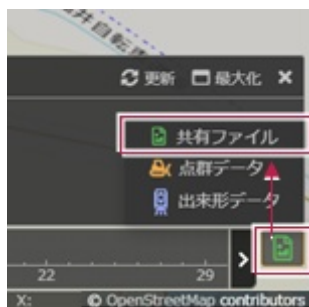
画面右下の〔ファイル一覧〕 をクリックすると、再表示できます。



《3D補足》 3D現場の場合

タイムライン右側にモード切り替えボタンが表示されます。

ファイル一覧を確認する場合は、[共有ファイル] を選択してください。



| 参照者－現場ビューア |

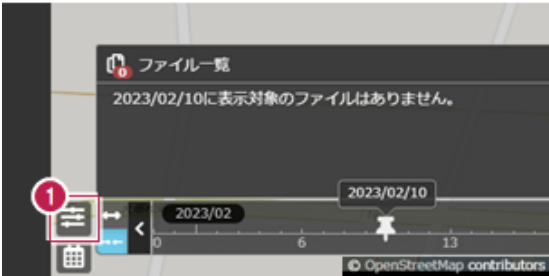
【参照者】オルソ画像の表示期間を確認する

2023年5月29日更新

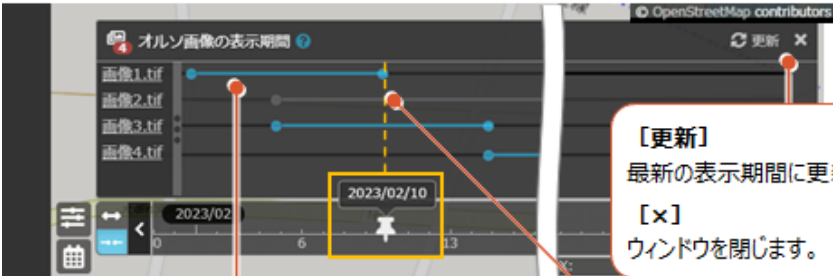
オルソ画像の表示期間を確認します。

1.画面左下の「表示期間設定」をクリックします。

オルソ画像の表示期間が表示されます。



3D現場の場合
ウィンドウ左上のリストで
「オルソ画像の表示期間」を選択してください。



・表示開始日が古いものが上から順に表示されます。
現場ビューアでは、並び順の上の画像が奥（下）に表示されます。

・選択中のバーは緑色、非表示に設定されているバーは灰色で表示されます。

【更新】
最新の表示期間に更新します。

【×】
ウィンドウを閉じます。

タイムライン選択日を含む画像が現場ビューアに表示されます。

《補足》詳細を確認する

各画像のバーをクリックすると、詳細を確認できます。



ファイル名をクリックすると、
画像が拡大表示されます。

スライダーをドラッグすると、
ファイル名の表示領域を変更できます。



| 参照者－現場ビューア |

【参照者】3Dモデルの表示期間を確認する（3D）

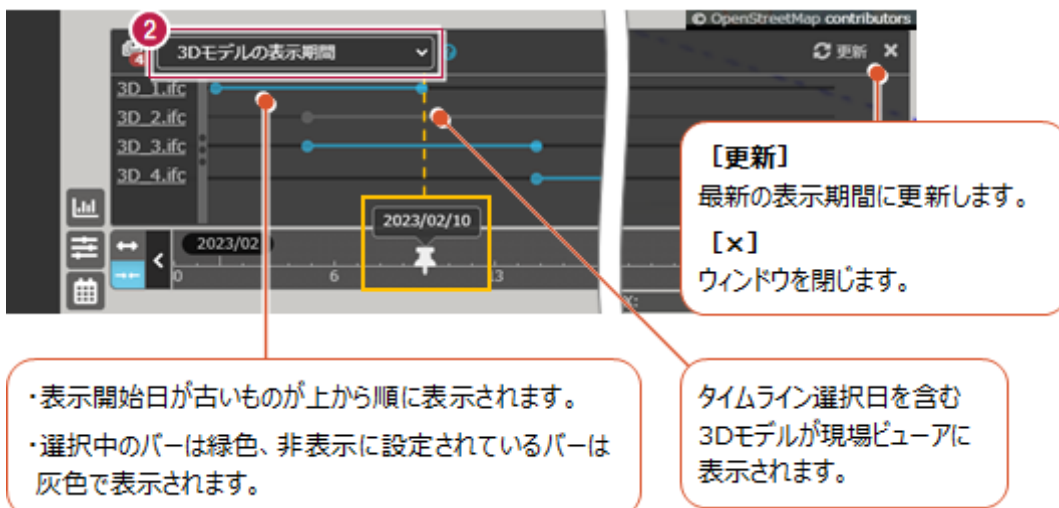
2023年5月29日更新

3Dモデルの表示期間を確認します。

1.画面左下の「表示期間設定」をクリックします。

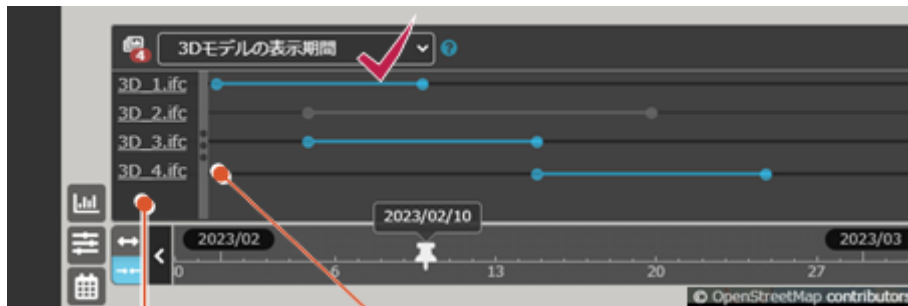


2.ウィンドウ左上のリストで「3Dモデルの表示期間」を選択します。
3Dモデルの表示期間が表示されます。



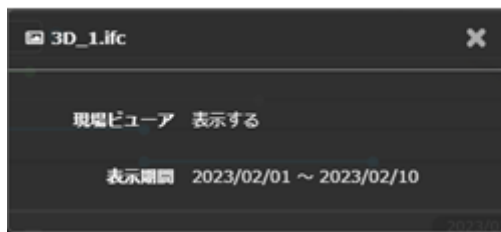
《3D補足》詳細を確認する

各3Dモデルのバーをクリックすると、詳細を確認できます。



ファイル名をクリックすると、
3Dモデルが拡大表示されます。

スライダーをドラッグすると、
ファイル名の表示領域を変更できます。



| 参照者－現場ビューア |

【参照者】点群の表示期間を確認する（3D）

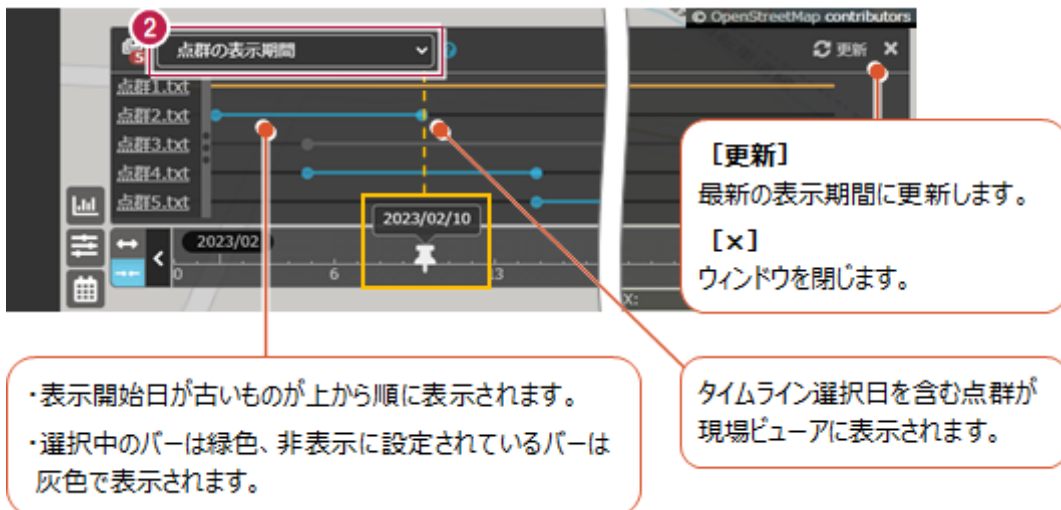
2023年5月29日更新

点群の表示期間を確認します。

1.画面左下の「表示期間設定」をクリックします。



2.ウィンドウ左上のリストで「点群の表示期間」を選択します。
点群の表示期間が表示されます。



《3D補足》詳細を確認する

各3Dモデルのバーをクリックすると、詳細を確認できます。

進捗計算用点群（オレンジ色）は確認できません。

ファイル名をクリックすると、点群が拡大表示されます。

スライダーをドラッグすると、ファイル名の表示領域を変更できます。

点群の表示期間

点群1.txt
点群2.txt
点群3.txt
点群4.txt
点群5.txt

2023/02 2023/02/10 2023/03

OpenStreetMap contributors

点群2.txt

現場ビューア 表示する

表示期間 2023/02/01 ~ 2023/02/10

| 参照者－現場ビューア |

【参照者】データを検索する

2023年5月29日更新

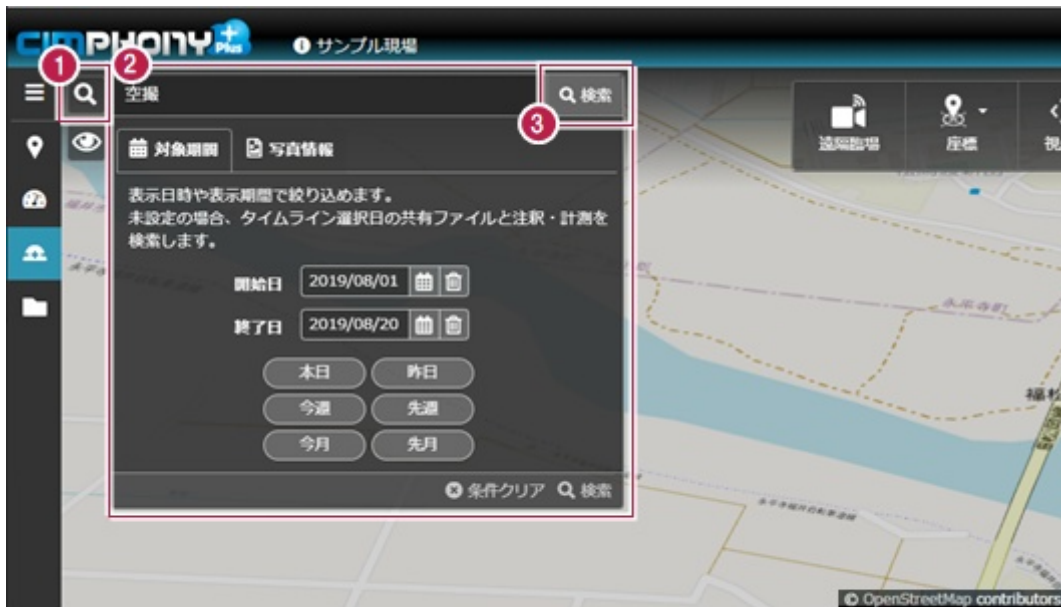
条件を指定して、該当するファイルや計測、注釈を現場ビューアに表示します。

目次

- ・ 検索条件を設定する
- ・ 検索条件を解除する

検索条件を設定する

- 1.画面左上の「検索」をクリックします。
- 2.検索条件を設定します。
3. 「検索」をクリックします。
指定した条件に該当するデータが表示されます。



検索実行中は、検索ボタンが青色で表示されます。



対象期間が青色で強調表示されます。

検索条件を解除する

1. [条件クリア] をクリックします。

2. [検索] をクリックします。

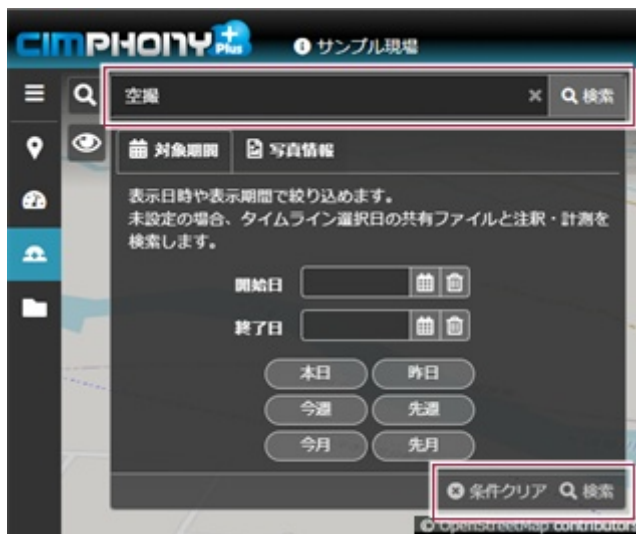
検索表示が解除されます。



[検索] をクリックすると、ダイアログが非表示になります。



《補足》 検索条件について



入力ボックス

検索キーワードを入力します。

スペースを空けて複数キーワードを入力すると、全てのキーワードを含むデータを検索します。

[キーワード検索対象項目]

- ・ ファイル情報（ファイル名、登録者名）
- ・ 写真情報（受注者名、撮影工種区分、写真タイトル、撮影箇所）
- ・ 注釈テキスト、注釈・計測備考

[検索]

設定した条件で検索を実行します。

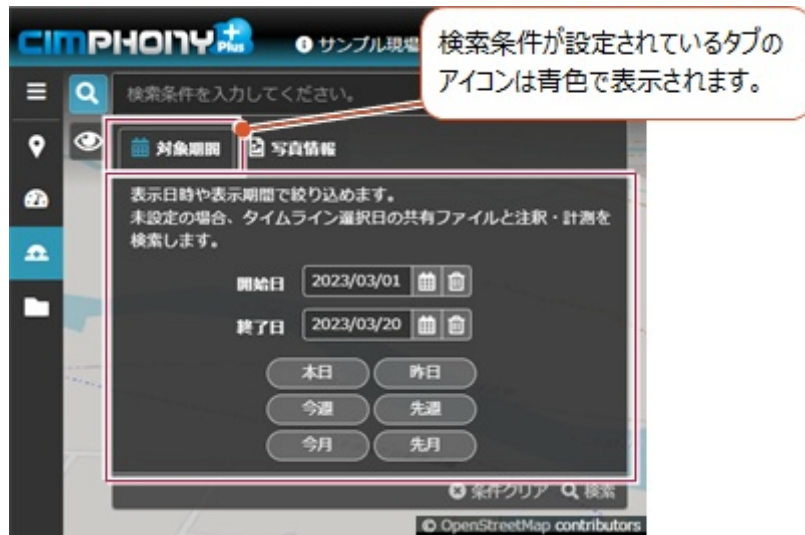
ダイアログ右下の [検索] も同様です。

[条件クリア]

検索条件をクリアします。

[対象期間] タブ

表示日時や表示期間で絞り込みます。



【開始日】

【カレンダーから選択】  で表示開始日を指定します。

指定しない場合は、【選択クリア】  をクリックして空欄にします。

【終了日】

【カレンダーから選択】  で表示終了日を指定します。

指定しない場合は、【選択クリア】  をクリックして空欄にします。

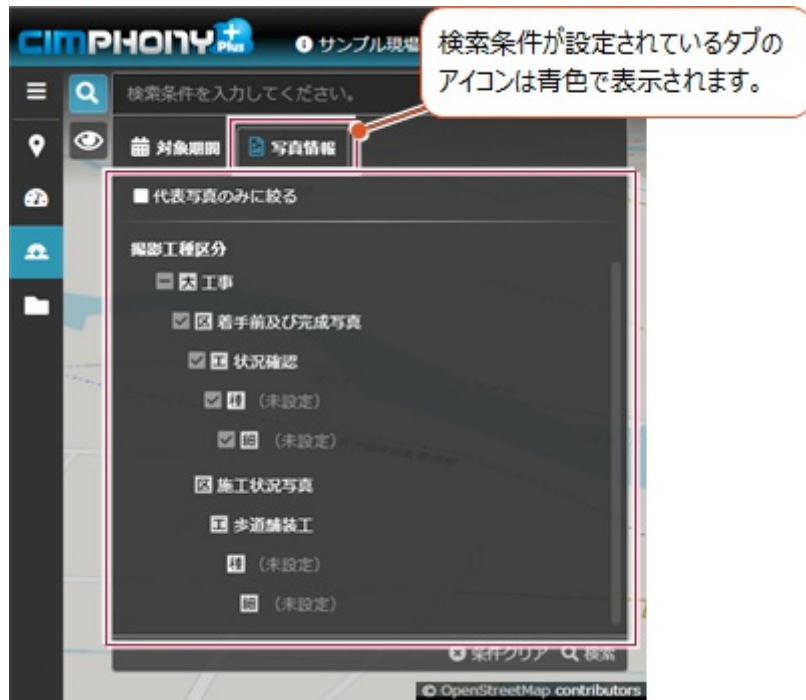
日付ボタン

本日、昨日、今週、先週、今月、先月の期間を【開始日】 【終了日】 に設定します。

【写真情報】 タブ

写真情報で絞り込みます。

写真情報を保持している写真が登録されている場合に表示されます。



【代表写真のみに絞る】

代表写真に設定されている写真のみ検索したい場合、オンにします。

【撮影工種区分】

検索したい写真の工種区分をオンにします。

| 【参照者】現場ビューア |

【参照者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える

2024年3月19日更新

現場ビューアに表示されている要素の表示/非表示を切り替えます。

1.画面左上の「表示切替」で各要素ボタンをクリックして、オン・オフを切り替えます。



【注釈・計測】のみオンの場合



【図面】のみオンの場合



※ファイル情報の「現場ビューア」が「表示する」になっている図面データが表示されます。

※図面の座標情報が誤っている場合は、正しい位置に表示されません。

《補足》座標点の表示/非表示を切り替える

「座標」は座標種別（（未設定）、工事基準点、標定点、検証点、計測点）ごとに表示/非表示の切り替えができます。

また、座標種別の右側のボタンをクリックすると、[点名とマーク] [マークのみ] の切り替えができます。

[点名とマーク]



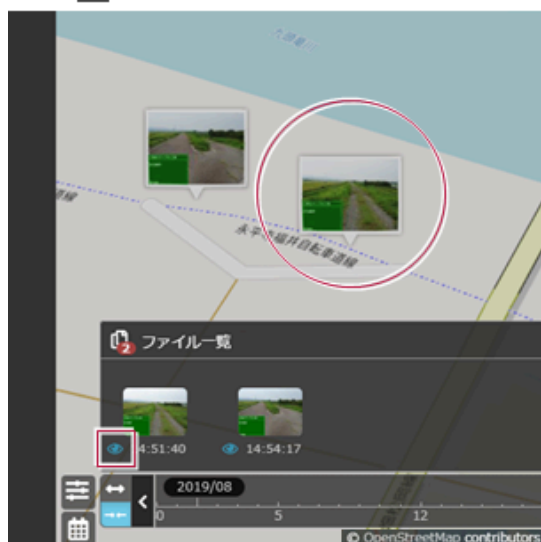
[マークのみ]



《補足》写真ファイルごとに表示/非表示を切り替える

ファイル一覧で各ファイルの  /  をクリックすると、表示/非表示が切り替わります。

( /  は位置情報がある写真にのみ表示されます。)

表示 非表示 

《補足》背景の表示/非表示を切り替える

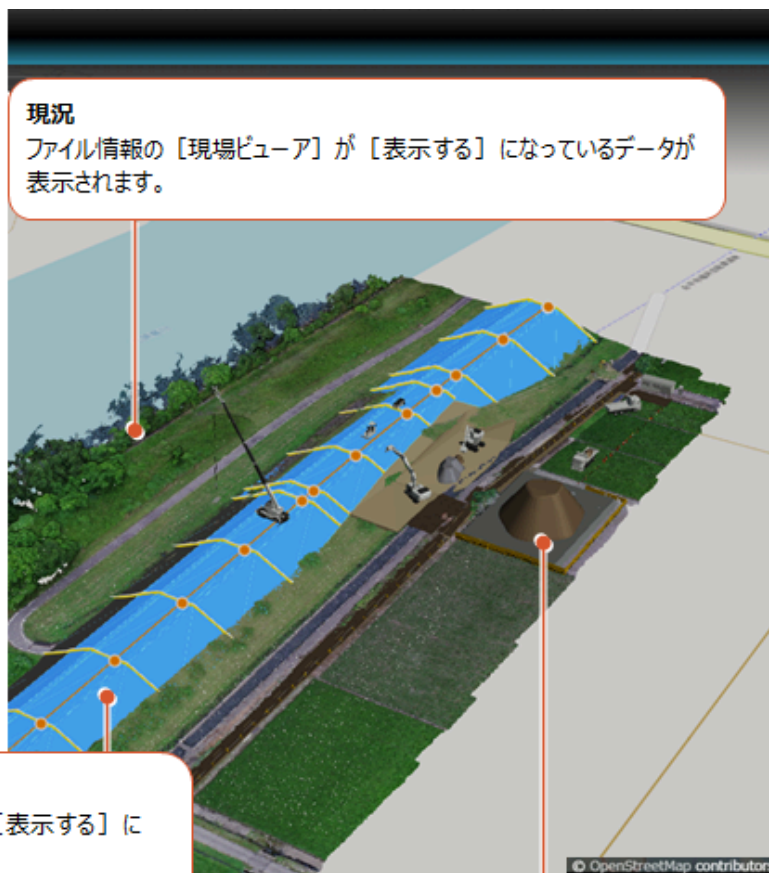
画面右上の「背景の表示/非表示」をクリックすると、オルソ画像を含む背景の表示/非表示が切り替わります。



※オルソ画像は背景として扱われるため、背景と共に表示/非表示が切り替わります。

《3D補足》3D現場の場合

〔座標〕（（未設定）、工事基準点、標定点、検証点、計測点）〔写真〕〔注釈・計測〕〔図面〕その他、〔設計〕（三角網、中心線形、測点名、横断線）〔現況〕〔3Dモデル〕の表示/非表示の切り替えができます。



現況

ファイル情報の「現場ビュー」が「表示する」になっているデータが表示されます。

設計

ファイル情報の「現場ビュー」が「表示する」になっているデータが表示されます。

進捗計算用の設計データ・検査データに含まれる設計データは青色、それ以外の設計データは灰色で表示されます。

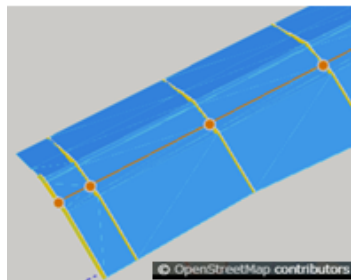
- ・LandXMLの場合は、「三角網」「中心線形」「測点名」「横断線」が表示対象です。
- ・基本設計データの場合は、「中心線形」「測点名」「横断線」が表示対象です。

3Dモデル

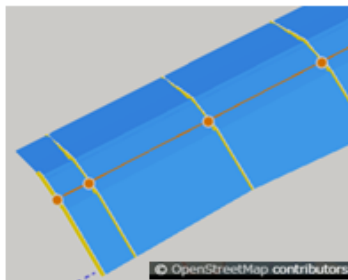
ファイル情報の「現場ビュー」が「表示する」になっているデータが表示されます。

「三角網」の右側のボタンをクリックすると、「面+線（ワイヤー）」「面のみ」「線（ワイヤー）のみ」の切り替えができます。

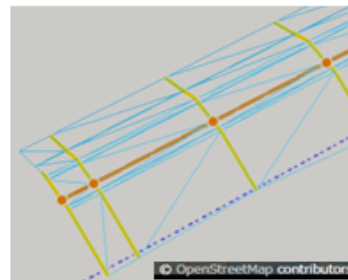
「面+線（ワイヤー）」



「面のみ」



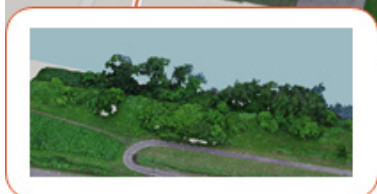
「線（ワイヤー）のみ」



「現況」の右側のボタンをクリックすると、「点群」「メッシュ」の切り替えができます。

メッシュデータの範囲については、補足「[メッシュデータの範囲について](#)」を参照してください。

【点群】



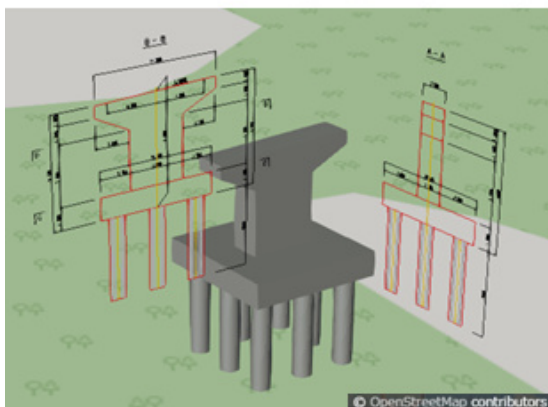
【メッシュ】



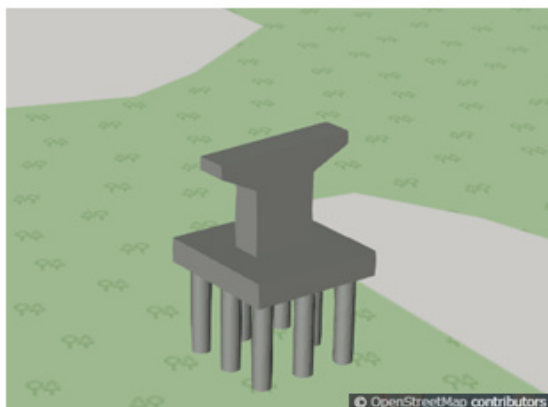
《3D補足》TREND-CORE連携データが登録されている場合

【3Dモデル】の右側にボタンが表示され、【3Dモデル+3DA】 【3Dモデルのみ】の切り替えができます。

【3Dモデル+3DA】



【3Dモデルのみ】



《3D補足》メッシュデータの範囲について

日々アップロードされる現況点群データを時系列順に継承したデータが作成されます。

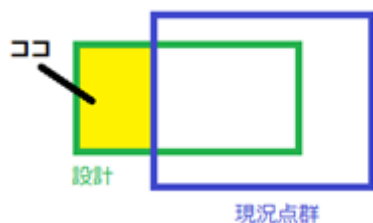


色付きの四角形は現況点群データの範囲です。

前日までの現況範囲の外であれば追加され、範囲内であれば上書き（差し替え）されます。

したがって、「メッシュデータの範囲」は「その日の現況点群データの範囲」より広くなることがあります。

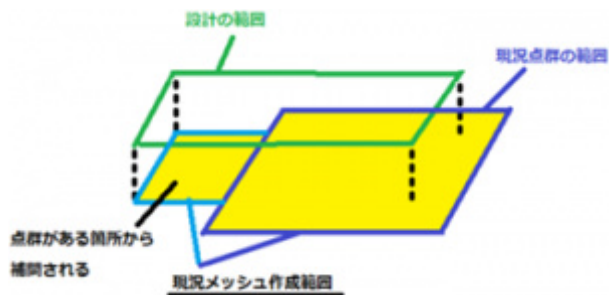
設計データの範囲に「初回現況点群データが存在しない部分」がある場合、



設計データの範囲（「現況点群データが存在しない部分」も含めて）が比較範囲となります。

また、現況点群が存在しない箇所は、現況メッシュ作成時に「補間」されます。

「補間」は近くの点群の標高をコピーするだけなので、穴埋め程度はできても、下図のように広い範囲を補間した場合は、期待した比較結果になりません。



設計範囲全体をカバーする初回現況点群データを用意するか、設計データを現況の範囲で作成してください。

《3D補足》メッシュデータの面積制限について

メッシュデータの格子サイズは、現場情報の格子サイズの設定値に依存します。メッシュデータの格子サイズが小さいほど表現は精細になりますが、データ変換や表示に時間がかかり、データサイズも大きくなるため、現場情報の格子サイズ毎にメッシュデータの面積制限を設けています。

ここでの「面積」は、「データを包括する矩形の面積」を意味します。

したがって、道路や河川などの延長が長いデータは、ここでの「面積」が大きくなります。

また、点群処理の場合は、「設計」と「対象点群の測量日以前の全点群」を含めた領域の面積で判定します。



面積制限のチェックは「設計データの変換処理」または「点群データのデータ変換処理（進捗計算）」で行います。

制限を超える場合は進捗計算エラーとなり、詳細はファイル管理の「データ変換」または「進捗計算」で確認できます。

■面積制限

格子サイズ	面積制限値
0.5m	4 km ² まで
1.0m	16 km ² まで
2.5m	100 km ² まで
5.0m	400 km ² まで

※400km2を超える場合は、データを分割し現場を分けて運用してください。

| 【参照者】現場ビューア |

【参照者】 遠隔臨場を行う

2025年2月18日更新

登録されている機器に接続します。

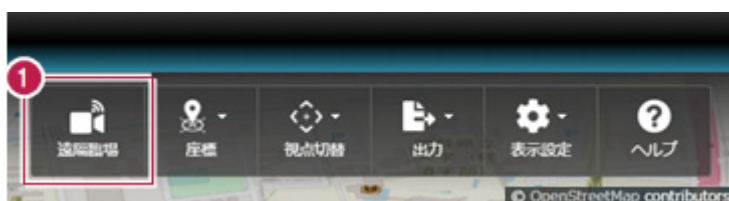
※接続後の動作は機器タイプによって異なります。

目次

- ・ 機器に接続する
- ・ 録画ファイルを確認する

機器に接続する

1. [遠隔臨場] をクリックします。



2. 接続する機器の [接続] をクリックします。



3. [はい] をクリックします

※カメラの映像を視聴するための別ウィンドウが開きます。

以降の動作は機器タイプによって異なります。



※遠隔臨場を終了する場合は、機器管理ダイアログの[終了] または [遠隔臨場] をクリックしてください。

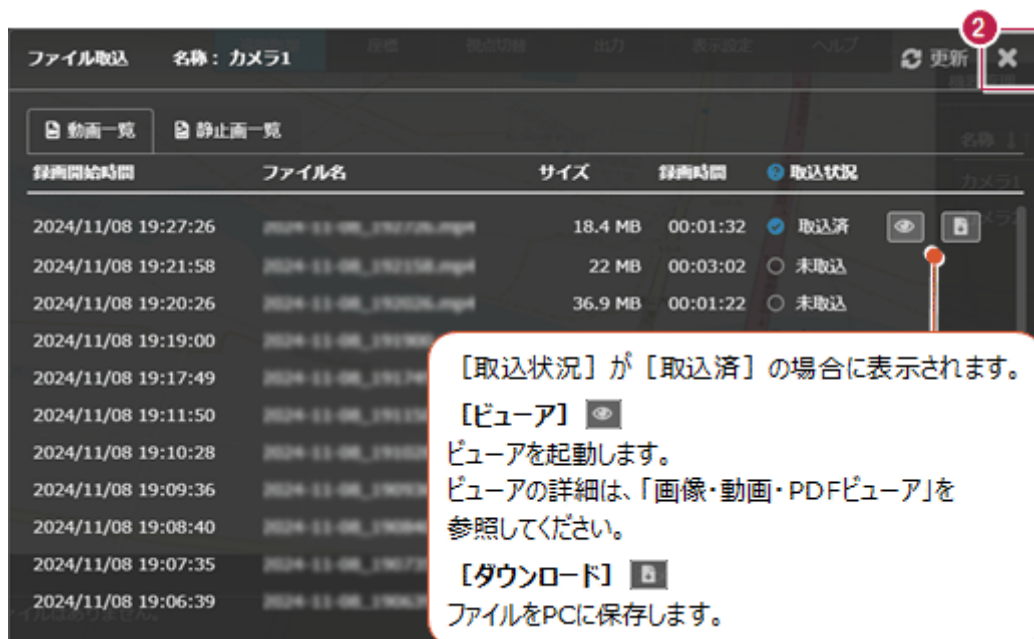


録画ファイルを確認する

1.録画ファイルを確認する機器の「取込」をクリックします。



2.確認後、[×] をクリックしてコマンドを終了します。



| 【参照者】現場ビューア |

【参照者】座標情報を確認する

2024年3月19日更新

座標点の情報を確認します。

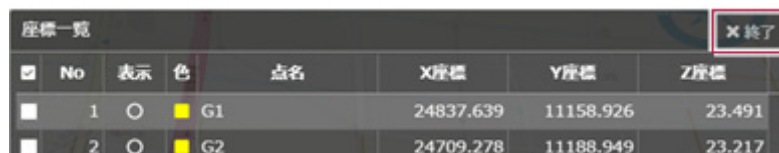
1. [座標] をクリックします。
2. [座標管理] をクリックします。
座標一覧が表示されます。



3. [座標] をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。



《補足》座標をコピーする

座標一覧ダイアログの [コピー] で、チェックをオンにした座標をコピーします。



☒	No	表示	色	点名	X座標	Y座標	Z座標
☒	1	○	■	G1	24837.639	11158.926	23.491
☒	2	○	■	G2	24709.278	11188.949	23.217
☒	3	○	■	T1	24807.084	11167.352	23.535
☐	4	○	■	T2	24775.457	11171.481	23.453
☐	5	○	■	T3	24743.488	11178.354	23.342
☐	6	○	■	T4	24740.327	11195.360	18.900
☐	7	○	■	T5	24794.943	11177.798	21.581
☐	8	○	■	T6	24732.778	11204.284	18.652
☐	9	○	■	T7	24770.488	11201.918	18.583
☐	10	○	■	T8	24805.463	11149.213	18.383
☐	11	○	■	T9	24717.024	11167.863	18.227

座標一覧

全選択 全解除 コピー 座標書込

【コピー】

座標情報をクリップボードにコピーします。

《補足》座標を書き込む

座標一覧ダイアログの「座標書込」で、チェックをオンにした座標（点名、X座標、Y座標、Z座標）のファイルを保存します。



☒	No	表示	色	点名	X座標	Y座標	Z座標
☒	1	○	■	G1	24837.639	11158.926	23.491
☒	2	○	■	G2	24709.278	11188.949	23.217
☒	3	○	■	T1	24807.084	11167.352	23.535
☐	4	○	■	T2	24775.457	11171.481	23.453
☐	5	○	■	T3	24743.488	11178.354	23.342
☐	6	○	■	T4	24740.327	11195.360	18.900
☐	7	○	■	T5	24794.943	11177.798	21.581
☐	8	○	■	T6	24732.778	11204.284	18.652
☐	9	○	■	T7	24770.488	11201.918	18.583
☐	10	○	■	T8	24805.463	11149.213	18.383
☐	11	○	■	T9	24717.024	11167.863	18.227

座標一覧

ローカルヘダダウンロード

全選択 全解除 コピー 座標書込

■ローカルへダウンロード

コンピューターに座標ファイルを保存します。



【ファイル形式】

出力するファイルの形式を選択します。

【ファイル名】

ファイル名を入力します。

| 参照者－現場ビューア |

【参照者】座標点の表示設定を行う

2023年5月29日更新

座標点の文字サイズ、マークサイズを設定します。

1. [座標] をクリックします。
2. [表示設定] をクリックします。



3. [点名の文字サイズ] [マークサイズ] を設定します。
4. [確定] をクリックします。
現場ビューアの座標点に設定が反映されます。



【点名の文字サイズ】

点名の文字サイズを設定します。

ただし、大きいほどパフォーマンスは低下します。

【マークサイズ】

マークのサイズを設定します。

ただし、大きいほどパフォーマンスは低下します。

【拡大率による自動調整】

オンにすると、ビューの拡大率によって点名のサイズを自動調整します。

縮小した時はサイズが小さく、拡大した時はサイズが大きくなります。

| 参照者－現場ビューア |

【参照者】管理断面を確認する（3D）

2023年5月29日更新

管理断面を確認します。

設計データが登録されている現場で操作してください。

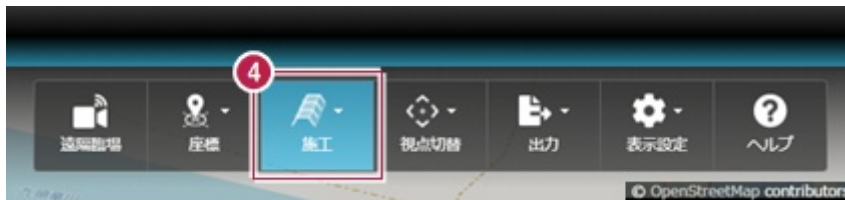
1. [施工] をクリックします。
2. [管理断面] をクリックします。



3. 横断線をクリックします。
画面下に断面が表示されます。



4. [施工] をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。



| 【参照者】現場ビューア |

【参照者】任意断面を確認する（3D）

2024年3月19日更新

任意断面を確認します。

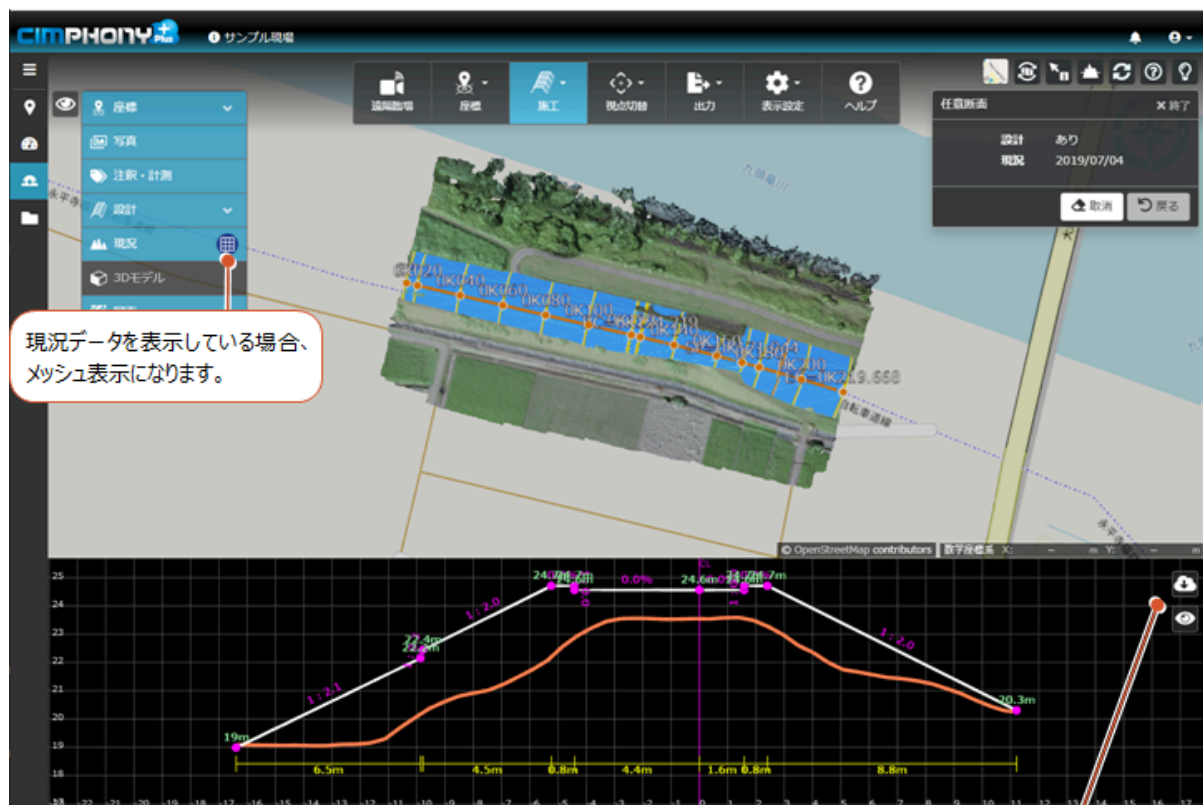
設計データが登録されている現場で操作してください。

※基本設計データは対象外です。

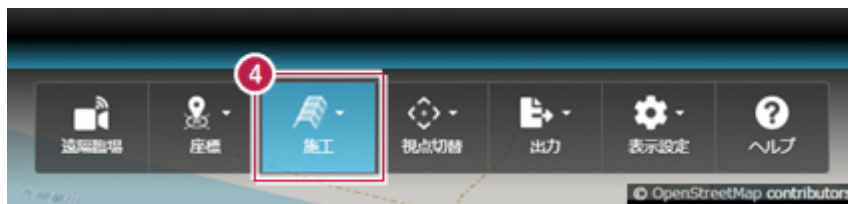
1. [施工] をクリックします。
2. [任意断面] をクリックします。



3. 開始点、終了点を順にクリックします。
画面下に断面が表示されます。



4. [施工] をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。



｜【参照者】現場ビューア｜

【参照者】現況データを比較する（3D）

2024年3月19日更新

現況データと設計データを比較し、違いを標高差モデルとして表示します。

2つの現況データを比較することもできます。

ここでは、進捗計算用の点群データと設計データを比較します。

設計データと点群データが登録されている現場で操作してください。

1. [施工] をクリックします。
2. [データ比較] をクリックします。



3. [比較元選択] をクリックします。



4.比較元のデータを選択します。

ここでは、「現況（進捗計算対象の点群）」の「カレンダーから選択」をクリックします。

※比較データ選択ダイアログの詳細は、補足「[比較データ選択ダイアログについて](#)」を参照してください。

5.現況日をクリックします。

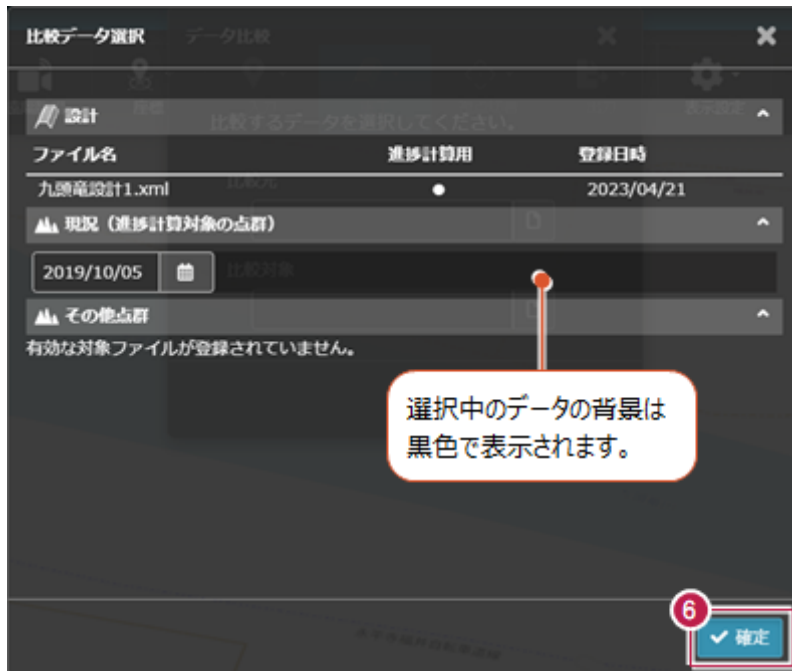


現況日をカレンダーから選択する場合

進捗計算用点群データの測量日がオレンジ色で表示されます。
点群の表示期間から日付を選択してください。



6. [確定] をクリックします。



7. [比較対象選択] をクリックします。



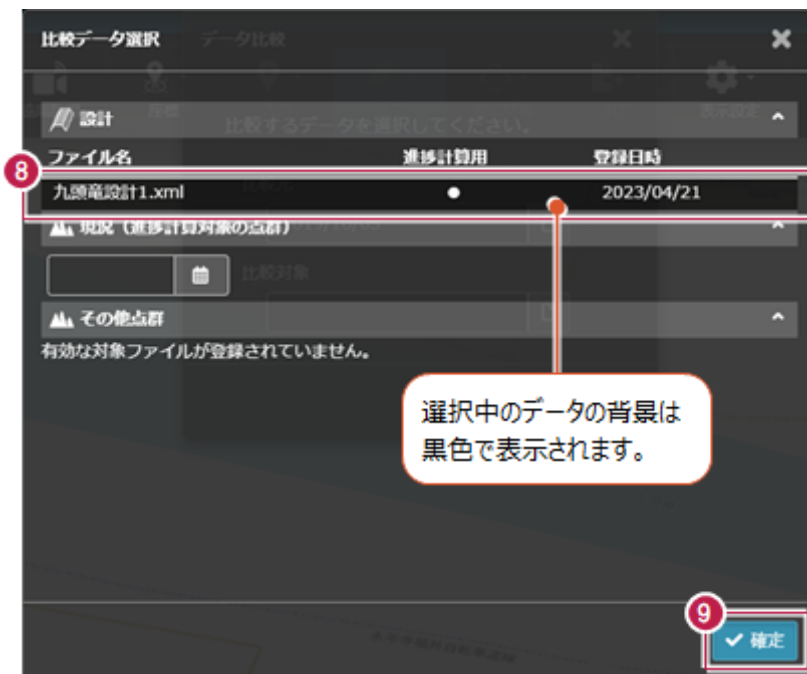
8. 比較対象のデータを選択します。

ここでは、[設計] のデータを選択します。

※比較元と異なるデータを選択してください。

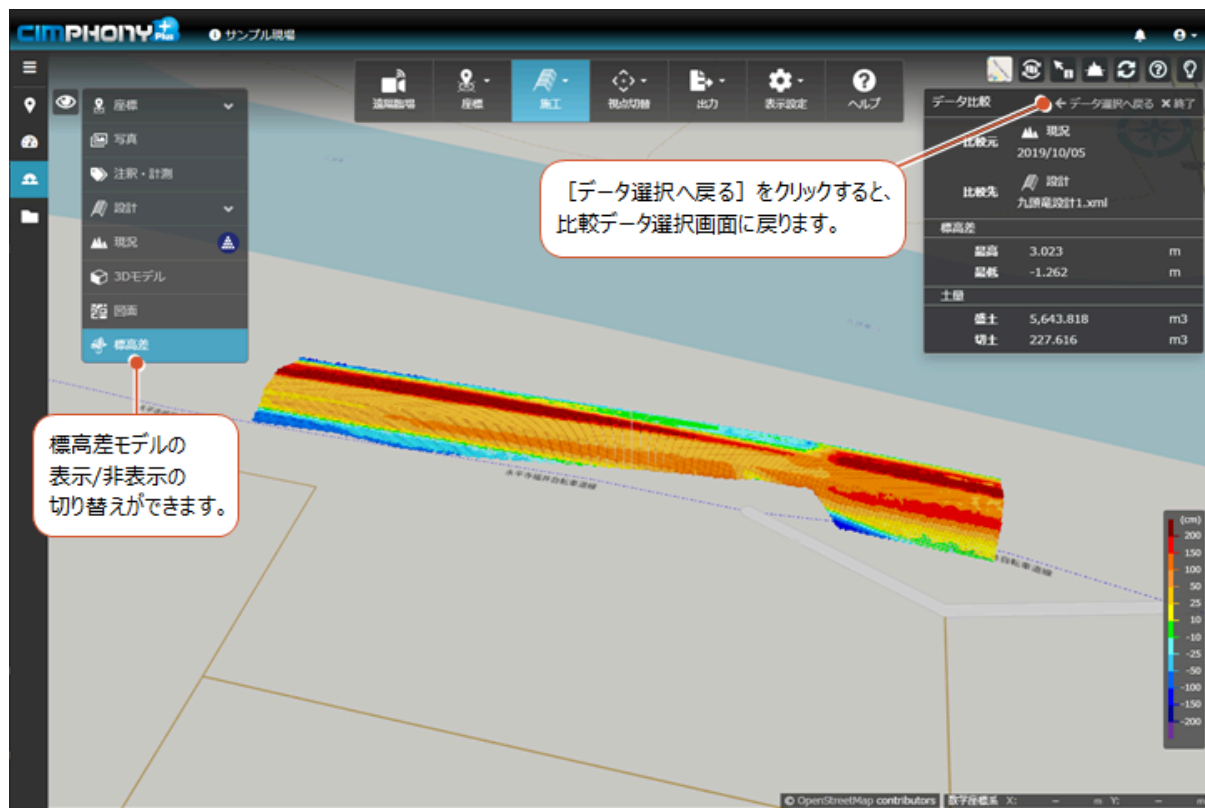
※比較データ選択ダイアログの詳細は、補足「[比較データ選択ダイアログについて](#)」を参照してください。

9. [確定] をクリックします。

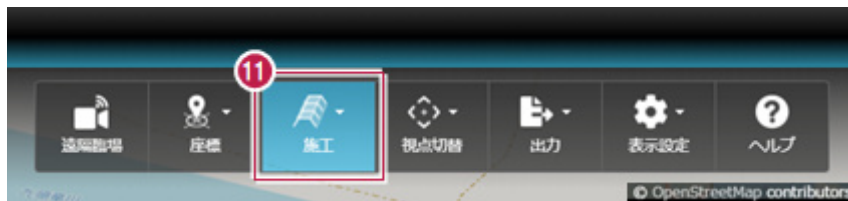


10. [OK] をクリックします。
標高差モデルや比較データが表示されます。

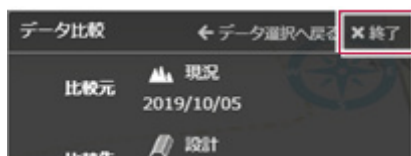




11. 「施工」をクリックしてコマンドを終了します。



※ 「終了」をクリックしてコマンドを終了することもできます。



《3D補足》 比較データ選択ダイアログについて

比較するデータを1つ選択してください。



【設計】

設計データ（LandXML）を選択します。

※進捗計算対象外データも選択できますが、2023年5月28日以前に登録した進捗計算対象外データは表示されません。

比較対象とする場合は登録し直してください。

※基本設計データは対象外です。

【現況（進捗計算対象の点群）】

【進捗計算】が【使用する】になっている点群データをカレンダーから選択します。

【その他点群】

【進捗計算】が【使用しない】になっている点群データを選択します。

《3D補足》土量値の計算について

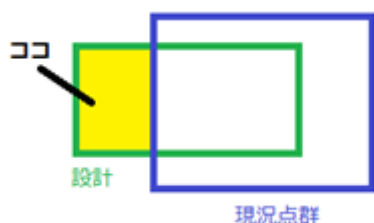
- ・ 4点平均標高法で計算しています。
- ・ 現場作成時に設定された格子サイズのメッシュから計算しています。



《3D補足》比較範囲について

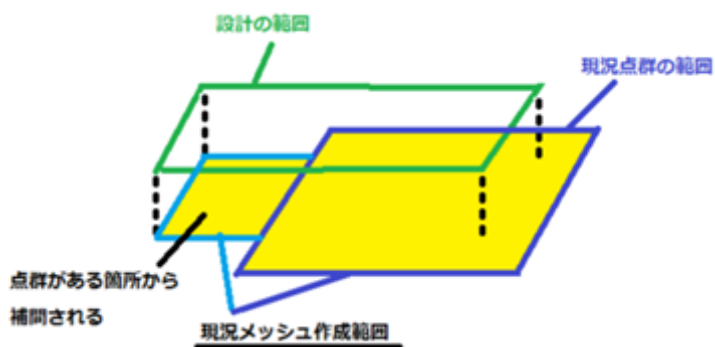
■設計データがある場合

設計データの範囲のみ比較します。（設計範囲＝比較範囲という考え方）
設計データの範囲に「初回現況点群データが存在しない部分」がある場合、



設計データの範囲（「現況点群データが存在しない部分」も含めて）が比較範囲となります。

また、現況点群が存在しない箇所は、現況メッシュ作成時に「補間」されます。
「補間」は近くの点群の標高をコピーするだけなので、穴埋め程度はできても、
下図のように広い範囲を補間した場合は、期待した比較結果になりません。



設計範囲全体をカバーする初回現況点群を用意するか、設計データを現況の範囲で作成してください。

■設計データがない場合

現況データ全体の範囲（現況メッシュデータの範囲）を比較します。

《3D補足》標高差ヒートマップの格子数が300万を超える場合

ヒートマップの格子数が300万を超える場合は、現場の面積が広すぎるため、比較できません。

現場情報の格子サイズを大きくするか、データを分割してそれぞれ別の現場として管理してください。

※格子サイズを変更しても点群がエラーのままの場合は、点群ファイルを再登録してください。

| 参照者－現場ビューア |

【参照者】土量進捗を確認する（3D）

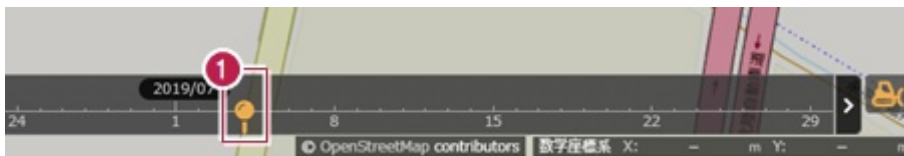
2023年5月29日更新

土量進捗をヒートマップで確認します。

設計データと点群データが登録されている現場で操作してください。

※土量進捗に使用する設計データと点群データは、[進捗計算]が[使用する]になっているデータが対象です。

1. タイムラインで初回測量日以降の日付を選択します。

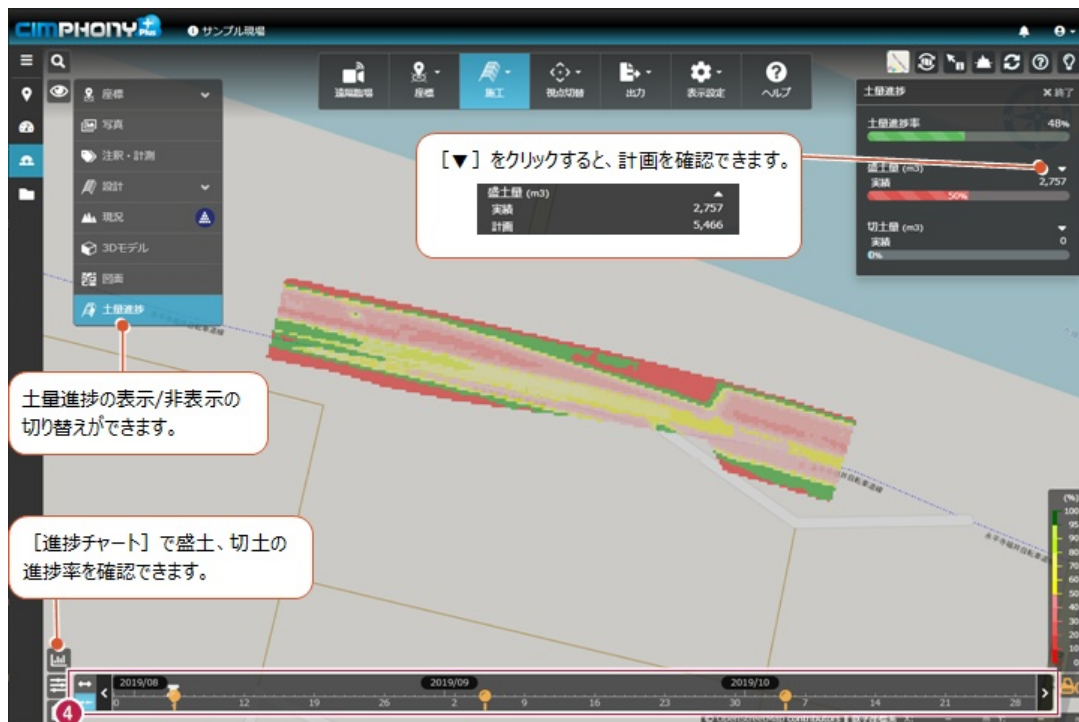


2. [施工] をクリックします。

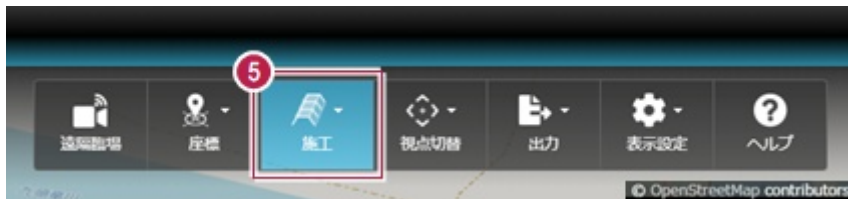
3. [土量進捗] をクリックします。



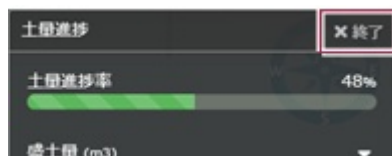
4. タイムラインの日付を変更して、土量進捗を確認します。



5. 「施工」をクリックしてコマンドを終了します。



※ 「終了」をクリックしてコマンドを終了することもできます。



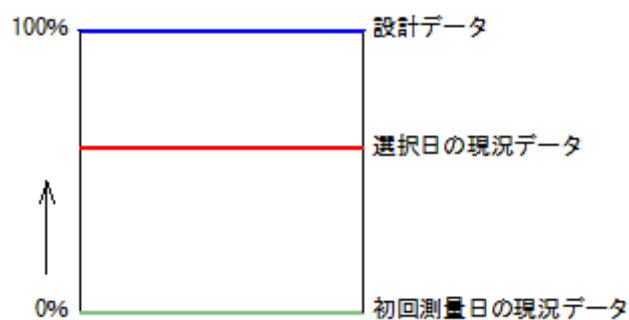
《3D補足》土量値の計算について

- ・ 4点平均標高法で計算しています。
- ・ 現場作成時に設定された格子サイズのメッシュから計算しています。



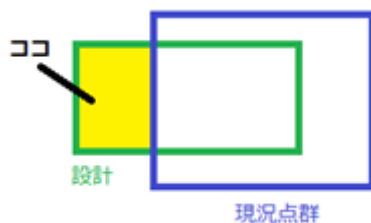
《3D補足》土量進捗率について

土量進捗率は、初回測量日を0%、設計データを100%として計算されます。



《3D補足》評価範囲について

設計データの範囲のみ評価します。（設計範囲＝評価範囲という考え方）
設計データの範囲に「初回現況点群データが存在しない部分」がある場合、

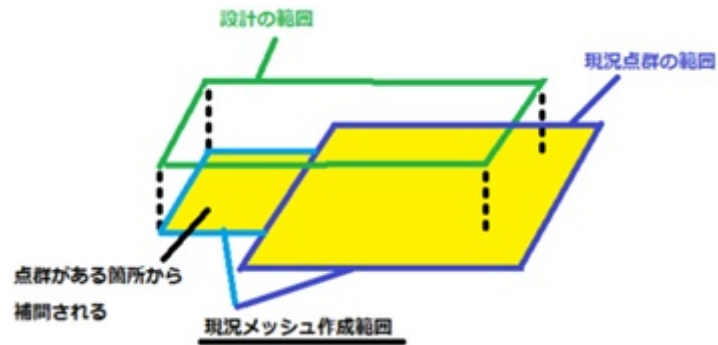


設計データの範囲（「現況点群データが存在しない部分」も含めて）が評価範囲となります。

また、現況点群が存在しない箇所は、現況メッシュ作成時に「補間」されます。

「補間」は近くの点群の標高をコピーするだけなので、穴埋め程度はできて

も、下図のように広い範囲を補間した場合は、期待した比較結果になりません。



設計範囲全体をカバーする初回現況点群を用意するか、設計データを現況の範囲で作成してください。

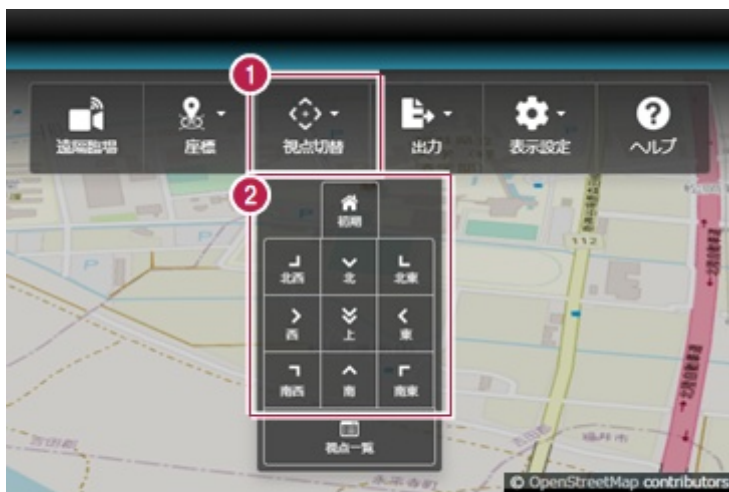
| 参照者－現場ビューア |

【参照者】視点を切り替える

2023年5月29日更新

現場ビューアの視点を切り替えます。

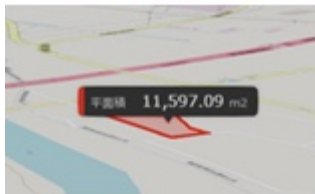
1. [視点切替] をクリックします。
2. 方向を選択します。
各方向から眺めるような視点到に切り替わります。



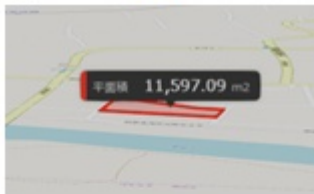
【初期】



【北西】



【北】



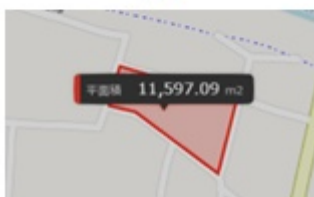
【北東】



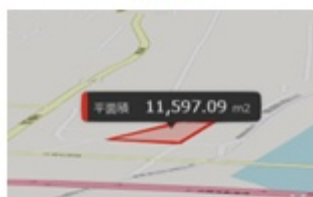
【西】



【上】



【東】



【南西】



【南】

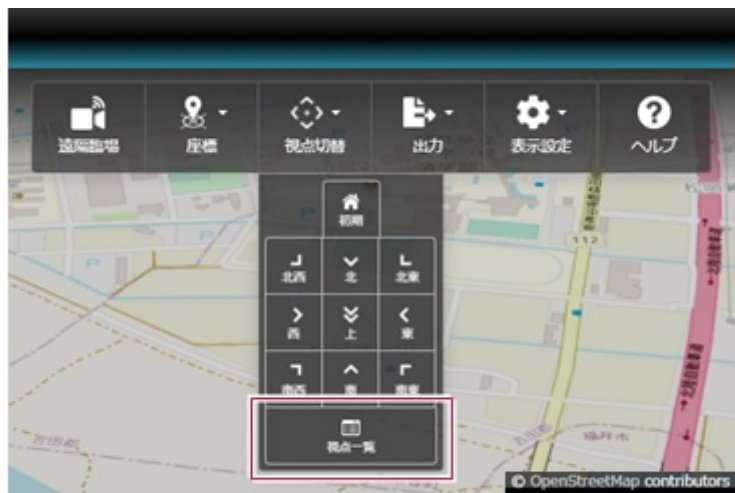


【南東】



《補足》【視点一覧】に登録されている視点到に切り替える

【視点一覧】に登録されている視点をクリックすると、視点が切り替わります。

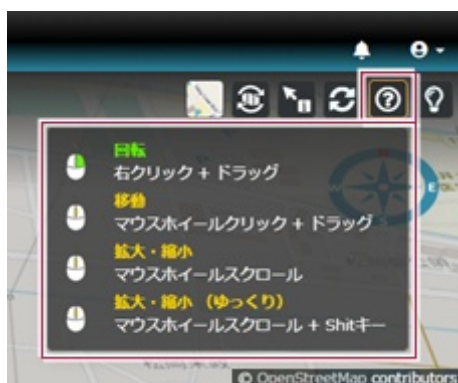


「終了」をクリックすると、
ダイアログが閉じます。

《補足》画面の回転・移動・拡大について

PCの場合は、マウス右ボタンドラッグで回転、マウスホイールドラッグで移動、マウスホイールを奥に転がして拡大できます。

画面の操作方法は、画面右上の「操作ヘルプ」を確認してください。



タブレット端末の場合は、1本指を動かして移動、2本指を広げて拡大、2本指を同じ方向に動かして傾ける、2本指を別方向に動かして回転できます。

画面の操作方法は、画面右上の「操作ヘルプ」を確認してください。



| 参照者 - 現場ビューア |

【参照者】現場ビューアの画像を出力する

2023年5月29日更新

現場ビューア画面を画像として出力します。

1. 現場ビューアで視点を調整します。



2. [出力] をクリックします。

3. [画像出力] をクリックします。

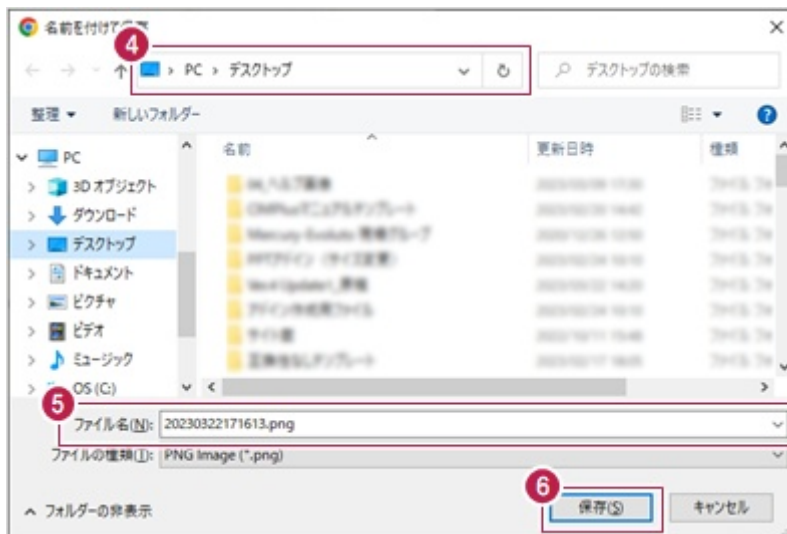


4.保存先を指定します。

5. [ファイル名] を入力します。

6. [保存] をクリックします。

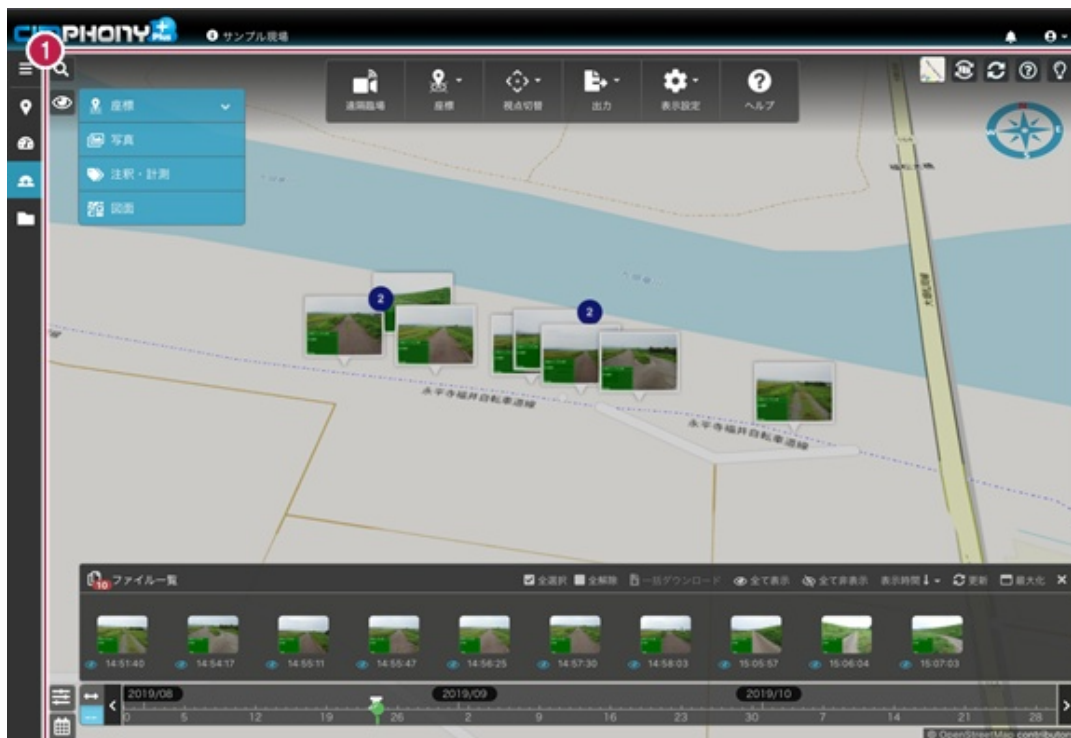
PNG形式の画像ファイルが保存されます。



《補足》 タブレット端末で現場ビューアの画像を出力する

タブレット端末によって、画像出力の操作が異なります。
ここでは、iPadブラウザ [Safari] を例に操作を説明します。

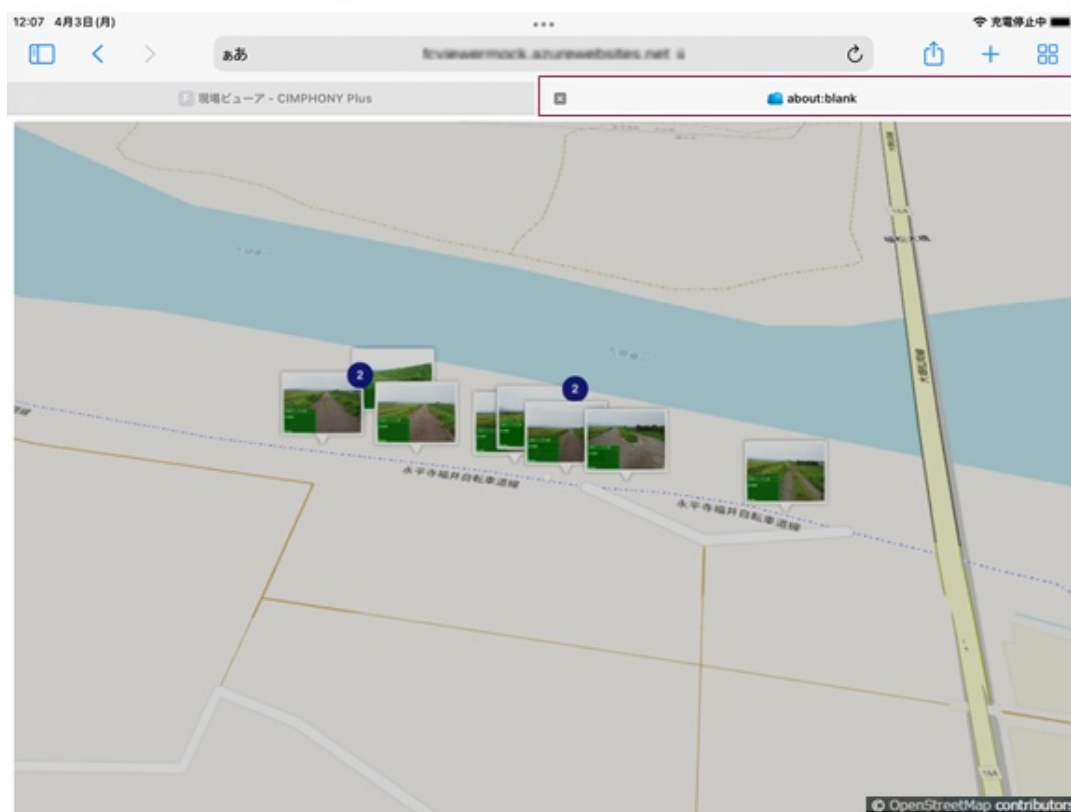
1.現場ビューアで視点を調整します。



2. 「出力」 をタップします。

3. 「画像出力」 をタップします。

ブラウザの別ページに出カイメージが表示されます。



4.画面を長押しして保存します。



| 参照者－現場ビューア |

【参照者】点群の表示設定を行う（3D）

2023年5月29日更新

点群の点密度、点サイズ、陰影表示を設定します。

1. [表示設定] をクリックします。
2. [点群表示] をクリックします。



3. [点密度] [点サイズ] [陰影表示] を設定します。
4. [確定] をクリックします。
現場ビューアの点群に設定が反映されます。



【点密度】

点群の表示密度を設定します。

【密】であるほど点群はきれいに表示されますが、パフォーマンスは低下します。

【粗】であるほど点群は粗く表示されますが、パフォーマンスは向上します。

【点サイズ】

点のサイズを設定します。

点群が粗い場合は、大きくすることで隙間を埋めて表示されます。

ただし、大きいほどパフォーマンスは低下します。

【拡大率による自動調整】

オンにすると、ビューの拡大率によって点のサイズを自動調整します。

縮小したときは点サイズが小さく、拡大したときは点サイズが大きくなります。

【陰影表示】

陰影表示のオン・オフと強弱を設定します。

オンにするとパフォーマンスが低下します。

※これらの設定は全現場に適用されます。

ただし、ユーザーアカウントごとの設定であるため、他のユーザーとは共有されません。

| 参照者－現場ビューア |

【参照者】 図面の表示設定を行う

2023年5月29日更新

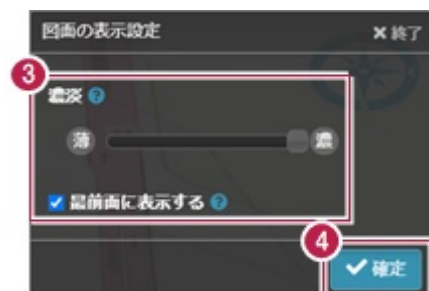
図面の濃淡、表示位置を設定します。

1. [表示設定] をクリックします。
2. [図面表示] をクリックします。



3.濃淡、表示位置を設定します。

4. [確定] をクリックします。
- 現場ビューアの図面に設定が反映されます。



【濃淡】

図面の濃淡を設定します。

【最前面に表示する】

最前面表示のオンオフを設定します。

オンにすると常に手前に表示され、オフにすると奥行きが考慮されます。

※これらの設定は全現場に適用されます。

ただし、ユーザーアカウントごとの設定であるため、他のユーザーとは共有されません。

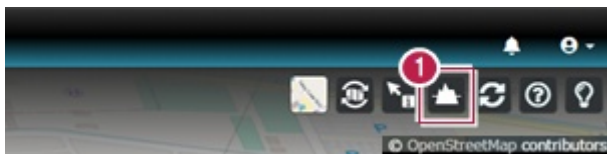
| 参照者－現場ビューア |

【参照者】地中のデータの表示/非表示を切り替える（3D）

2023年5月29日更新

地中のデータの表示/非表示を切り替えます。

1. [地中のデータ表示/非表示] をクリックして、表示/非表示を切り替えます。



表示オンの場合

地図より下のデータも表示されます。



表示オフの場合

地図より下のデータは表示されません。

